資料3-4

アンケートから見えた現状・課題と計画への反映について

市民向けアンケート

■環境に関する認知度・評価

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
問 2-1	PFAS について、63%が「聞いたことがない」と回答しており、内容まで理解している人は少ない状況である。	⇒PFAS についての現状を記載。また、用語の理解につながるよう、資料編用語説明に記載。	基本方針 2 資料編用語説明
問 2-2	①地球温暖化を防止する取組について、「あまり変わらない」が 56%と高く、市の施策効果が十分に伝わっていない状況である。	⇒重点的取組みとして重点対策加速化事業による脱炭素化の取組みを記載。	基本方針 1
問 2-2	⑨環境意識の向上・率先行動の実施について、「わからない」が 37%と高く、その取組や成果が十分に伝わっていない状況である。	⇒「チャレンジ 30」によるごみ減量意識の向上や「おいくら」の活用によるリユースの推進を記載。	基本方針4
		⇒出前講座やごみ分別動画により環境意識の啓発を図るほか、市ホームページや広報などの媒体を用いて情報発信することを記載。	基本方針 5

■省エネルギー・脱炭素

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
問 3-1	(5)自家用車よりバスや電車を利用しているについて、「実施する予定はない」が 69%を占めており、公共交通機関への転換は難しい状況である。	⇒電動自動車の普及だけでなく、更なる公共交通機関の利用促進を記載。	基本方針 1
問 3-3	設備を導入する上での課題として「お金に余裕がない」が 79%と最も多く、次いで「情報や知識が足りない」が 45%となっており、経済的負担や情報不足が課題となっている。	⇒環境省の重点対策加速事業による施策の推進や補助事業を始め、地球温暖化や再生可能エネルギー等に関する情報の発信に関する取組みを記載。	基本方針1
問 3-4	今後 5 年間での電気の削減見込について、「1 割未満」、「1～3 割」との回答が 63%と多く、日常生活の見直しによる小幅な削減が現実的となっている。	⇒家庭で実践できる取組みについて記載。	基本方針 1
問 3-4	今後 5 年間でのガソリンの削減見込について、「1 割未満」、「1～3 割」との回答が 57%と多い一方、自動車利用の必要性などから削減見通しが立てにくいことがうかがえる。	⇒電動自動車等、環境負荷が少ない車の導入・検討に関する取組みを記載。	基本方針 1

問 3-5	省エネ・脱炭素化を進める上で市に求める取組みとして、(1)省エネルギー設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成の充実について、69%と最も高くなっており、設備導入の経済的負担を軽減する支援が求められている。 また、(2)工場や事業所への取組の強化が 46%、(3)公共施設への導入が 41%となっており、事業者や行政が率先して取組むことも求められている。	⇒環境省の重点対策加速事業による施策の推進や補助事業を始め、地球温暖化や再生可能エネルギー等に関する情報の発信に関する取組みを記載。	基本方針 1
問 3-6	再エネ・省エネ設備導入の支援事業について、(6)いずれも知らないが 47%と最も多く、半数近くが支援事業を認知していない。	⇒継続的な情報提供などの支援が必要であることを記載。	基本方針 1

■自然環境・生物多様性

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
問 4-1	コウノトリが舞う里づくりの認知度について、「言葉は知っている」が 55%、「言葉も内容も知っている」が 34%と内容の理解に伸びしろがあると考えられる。	⇒コウノトリが舞う里づくりに関する各種取組みや情報発信の拡充・強化について記載。	基本方針 3

■ごみ減量・リサイクル

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
問 5-1	(5)フリーマーケットやリサイクルショップの活用について、「今後実施したい」、「実施する予定はない」の合計が 56%となっており、リユースによるごみ減量化の推進が課題となっている。	⇒リユースの推進よるごみ減量化の取組みを記載。	基本方針 4
問 5-1	(9)生ごみの減量化について、「実施する予定はない」が 32%で最も高い一方、「今後実施したい」も 31%となっており、関心はあるが、実際の取組みにつながりにくい状況となっている。	⇒生ごみ処理器設置奨励金制度による生ごみ減量化の取組みを記載。	基本方針 4

■環境共育

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
問 6-1	環境共育について重要な取組みとして、(1)「学校の授業などで環境学習を進める」が 75%で最も高くなっており、学校教育を環境学習の中心とすることへの期待が特に高いと考えられる。	⇒学校での環境学習・環境教育に関する取組みを記載。	基本方針 5

■将来像

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
問 7-3	市に重点的に進めてほしい施策について、(2)「生活環境を守る」が 65%と高い割合を占めている。また、(3)「美しい街並み景観の誘導」が 46%、(5)「豊かな自然環境の保全」が 45%(6)「不法投棄の取り締まり強化」が 44%と目に見えやすい地域環境の課題が重視されている。	⇒生活環境を守る(大気や水質などの保全に関する)取組みや不法投棄防止の取組みを記載。	基本方針 2
		⇒豊かな自然環境の保全(里地里山環境の保全)に関する取組みを記載。	基本方針 3

事業者向けアンケート

■地球温暖化対策

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
問 2-1	省エネ行動の実施状況について、(7)マイカー以外の通勤手段の奨励は「実施する予定はない」が 72%であり、通勤手段の転換は難しい状況である。	⇒電動自動車の普及だけでなく、更なる公共交通機関の利用促進を記載。	基本方針 1
問 2-3	地球温暖化対策を実施する上での課題として「資金に余裕がない」が 67%と最も多く、次いで「情報や知識が足りない」が 38%となっており、経済的負担や情報不足が課題となっている。	⇒環境省の重点対策加速事業による施策の推進や補助事業を始め、地球温暖化や再生可能エネルギー等に関する情報の発信に関する取組みを記載。	基本方針 1
問 2-5	市に求める取組について、「補助金や融資などの経済的支援」が 70%で突出して多く、「取組事例や導入効果などの情報提供」が 21%で続いており、設備投資の負担軽減を最も重視している。		
問 2-4	5 年後のエネルギー使用量削減見込について、すべてのエネルギーで「わからない」が 4 割を超えており、削減可能量を具体的に把握できていない事業所が多い。	⇒脱炭素アドバイザー資格取得の支援による排出量算定など、脱炭素経営の支援に関する取組みを記載。	基本方針1
問 2-6	市の支援事業について、(6)いずれも知らないが 69%であり、市の支援事業が十分に認知されていない。	⇒継続的な情報提供などの支援が必要であることを記載。	基本方針 1

■自然環境・生物多様性

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
問 3-1	コウノトリが舞う里づくりの認知度について、「言葉は知っている」が 58%、「言葉も内容も知っている」が 34%と内容の理解に伸びしろがあると考えられる。	⇒コウノトリが舞う里づくりに関する各種取組みや情報発信の拡充・強化について記載。	基本方針 3

■ごみ減量化・リサイクル

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
問 4-1	ごみ減量化・リサイクル行動の実施状況について、「実施している」「ある程度実施している」の合計が(1)紙の使用量削減で 79%、(4)計画的発注・在庫管理で 70%となり、費用をかけず、日常業務に直結する取組みが進んでいる。	⇒ペーパーレス化や事業過程での廃棄物減量化の取組みについて記載。	基本方針 4

■環境に関する認知・活動状況

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
問 5-1	環境用語の社内認知について、ZEB、ペロブスカイト太陽電池、PFAS と新しい専門用語の認知が低い。	⇒用語の理解につながるよう、資料編用語説明に記載。	資料編用語説明